

第21回北海道肢体不自由教育専門性向上セミナー 実施要項

令和8年(2026年)6月吉日

1 目的

肢体不自由教育専門性向上セミナーは、肢体に不自由のある児童生徒の指導に携わる教職員が、肢体不自由教育にかかわる基礎・基本を実践的に研修することにより、その基盤づくりを図ることと各人の指導実践力を高めることを目的に開催する。

2 主催等

主催 北海道特別支援学校肢体不自由教育校長会
北海道特別支援学校肢体不自由教育副校長・教頭会
後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道特別支援学校校長会
北海道特別支援学校副校長・教頭会
北海道特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会（申請中）
札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
事務局 北海道真駒内養護学校

3 開催日

令和8年7月27日（月）9:30～16:20（受付9:00～）

4 会場

北海道真駒内養護学校
〒005-0011 札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号 011-581-1782（代表）

5 開催方法

会場校に集合及びオンラインのハイブリッド形式 ※オンライン配信は、午前の全体講演のみ

6 参加対象者

道内肢体不自由養護学校及び肢体不自由特別支援学級の教職員等、肢体に不自由のある児童生徒の教育に携わる関係機関職員等、肢体不自由教育に関心のある教職員等

7 参加費

1人1,000円（午前のみまたは午後のみ参加の場合も同額） 事務局校教職員 500円
※事前振込

8 納入方法

- ・同一校に複数の受講者がいる場合には、各校で取りまとめ、次の振込先に振り込んでください。
- ・振込手数料は各校で御負担いただくようお願いいたします。
- ・依頼人のお名前は北海道、市町村立を除く学校名のみ入力するようお願いいたします。
- ・セミナー当日欠席された場合の返金には、対応いたしませんので御承知おきください。
- ・7月21日（火）を振込期日といたします。期日までにお振込みいただきますようお願いいたします。

北洋銀行： 星置支店 普通預金
店番号： 450
口座番号： 4324947
受取人： 北海道特別支援学校肢体不自由・病弱教育校長会専門性向上セミナー 代表 仲條 正輝

9 日 程

9:00 9:30 9:45

12:30

13:30

16:00 16:10 16:20

受付	開 会 式	全体講演 *ハイブリット	教材・教具展 昼食・休憩	分科会	会場 設 営 等	閉 会 式
		各分科会会場または オンラインでの受講		第1分科会「姿勢と運動」 第2分科会「教材・教具」 第3分科会「特性理解」 第4分科会「ICT活用」 第5分科会「重度重複」		

10 講演会

全体テーマ 「重度・重複障害児の能動的な学習を促進する学習内容と学習環境の設定」

講 師 広島修道大学人文学部 教授 樋口 和彦 氏

※会議室をメイン会場として講演し、校内の各会場とオンライン参加者へ配信します。

11 分科会

○内容

分科会 【場所】	「テーマ・内容」講師名
第1分科会 「姿勢と運動」 【小-中ホール】	「姿勢と運動・動作の理解と指導」 講師：北海道真駒内養護学校 自立活動教諭 片岡道彦氏
第2分科会 「教材・教具」 【小-低ホール】	「アナログ教材の大切さ」 講師：北海道真駒内養護学校 教諭 森山宣氏
第3分科会 「特性理解」 【小-高ホール】	「読み書きに困難のある児童生徒の特性理解（仮）」 講師：北海道教育大学札幌校 准教授 齊藤真善氏
第4分科会 「ICT活用」 【小-高ホール】	「“できる”を見つけるICT活用 ～肢体不自由のある子どもの表現・遊び・学びを広げるために～」 講師：NPO法人Ruman Kita 代表理事 吉田美知代氏
第5分科会 「重度重複」 【会議室】	「重度・重複障がいのある児童生徒の授業づくりについて（仮）」 講師：広島修道大学 人文学部 教授 樋口和彦氏

※分科会について、会場や内容の都合により参加人数に上限があります。申し込み状況によって調整を行いますので、御了承願います。

12 開・閉会式

(1) 主催者代表挨拶

北海道真駒内養護学校長 仲 條 正 輝

(2) 諸連絡

13 申込方法

(1) 方法

- ・学校毎に参加希望者を集約して、別記様式「第21回北海道肢体不自由教育専門性向上セミナー参加申込書」に必要事項を入力してメールで送信してください。
- ・本案内文書及び参加申込書は、本校ホームページからダウンロードできます。

(2) 申込先

makomanai@hokkaido-c.ed.jp

北海道真駒内養護学校教頭 奥 田 裕 幸 あて

※件名を「【学校名】第21回専門性向上セミナー申込書」とするよう御協力をお願いします。

(3) 申込期日

令和8年7月3日（金）

14 暑さ対策について

- (1) エアコンが設置されているホール等を会場とし、終日校内分散して実施します。
- (2) より多くの方が研修に参加できるように、全体講演についてはオンライン参加を可能とし、会場参集及びオンラインによるハイブリッド形式で実施します。
- (3) 校内分散での開催となること、全体講演については講師が1つの会場をメインとして講演し、配信します。

15 その他

- (1) 講演会資料等は、7月21日(火)までにクラウドへ格納します。各自でダウンロードし当日お持ちください。(印刷配布はいたしません。) ※後日、URLをメールで連絡いたします。
- (2) 講演会・分科会資料等の格納先、オンライン配信に参加される方へのミーティングID・パスワード等につきましては、後日お知らせします。
- (3) お弁当の斡旋、書籍販売は行いません。
- (4) 昼食は、会場での飲食が可能です。が、ごみは各自でお持ち帰りください。
- (5) 駐車スペースが限られるため、参加者の来校につきましては、原則公共交通機関を使っての来校に御協力をお願いします。やむを得ずに車での来校を希望される方は、申込書の備考欄に「車利用希望」と入力ください。
- (6) 講演及び分科会、校内の掲示物等について、写真撮影及び録画・録音は、お控えください。
- (7) 名札・上靴を各自持参願います。玄関等に外靴置きは設置いたしませんので、上靴を入れる袋も御持参ください。
- (8) セミナー終了後、アンケートへの御協力をお願いします。

16 アクセス

- (1) 地下鉄を御利用の場合
・札幌市営地下鉄南北線 自衛隊前駅から徒歩10分
- (2) バスを御利用の場合
・中央バス
西岡線 [南 81] 真駒内線 [真 104] 真駒内線 [真 105]
・じょうてつバス
藻岩線 [南 95] 南沢線 [南 96]
北の沢線 [南 97] 藻岩山手線 [南 98] 南沢線 [環 96]
*上記路線の停留所「上町5丁目」から徒歩10分



全体講演

「重度・重複障害児の能動的な
学習を促進する学習内容と学習環境の設定」

第5分科会
「重度重複」

講師 広島修道大学人文学部教授 樋口 和彦 氏

～講師紹介～

重度・重複障害児の学習や自閉症児の言語コミュニケーションなどについて研究され、通常の学級や幼稚園、保育園における発達障害児の支援など幅広く御活躍されています。

※分科会では、各学校での事例を交流しながら、重度・重複障害の児童生徒の授業づくりについて理解を深めます。



第1分科会 「姿勢と運動」

講師 北海道真駒内養護学校自立活動教諭
片岡 道彦 氏

～講師紹介～

北海道立札幌肢体不自由総合療育センター（現北海道立子ども総合医療・療育センター）で理学療法士として勤務されていました。平成27年度より本校の自立活動教諭として、肢体不自由のある児童生徒の日常の援助や指導の充実におむけて取り組んでいただいております。

第2分科会 「教材・教具」

講師 北海道真駒内養護学校教諭
森山 宣 氏

～講師紹介～

令和5年度に北海道真駒内養護学校へ赴任され、肢体不自由のある児童生徒の授業づくり（教材・教具の活用）に取り組んでいます。講義では、アナログ教材の良さや意義について、参加者の方々と検討し、肢体不自由のある児童生徒の教材・教具について理解を深めます。

第3分科会 「特性理解」

講師 北海道教育大学札幌校准教授
齊藤 真善 氏

～講師紹介～

発達障害の認知特性ならびに支援方法の研究をされています。ASD（自閉スペクトラム症）では、身体的模倣場面等の認知についてアイトラッカーを用いて研究をされています。また、LD（発達障害のうち学習障害）では、幼児から小1段階の読みの初期段階における基礎的な認知能力研究でご活躍されています。

第4分科会 「ICT活用」

講師 NPO法人Rumah kita 代表理事
吉田 美知代 氏

～講師紹介～

札幌市を拠点とするNPO法人Rumah kitaはe-AT（支援技術）機器の製作と相談会として「テくてくLab」を開催しています。スイッチや視線入力などのアシスティブテクノロジー（AT）を通じ、重い障がいがある子どもたちの可能性を広げるための機器製作や、おもちゃの改造相談を行っています。